

◎広報・図書委員会

委員長 小山 一夫

○ 運営目標の実施状況とその成果

1. 基本方針

広報では、広報マインドを全教職員に醸成するとともに、広報を一元管理し、新居浜工業高等専門学校を強くアピールする。広報の対象を明確化し、対象毎に必要な情報を提供しアピールする。

図書では、図書教育を活性化するとともに、電子ジャーナル導入によって科学文献渉猟を充実させる。

本年度から委員会の効率化を受けて、教員メンバーは委員長を除き3名の構成で委員会業務を展開した。

高等教育機関としての当校の広報マインドを全教職員に訴えかなり浸透した。その結果、各部門において活発な広報活動が行われた。

図書では、学生利用の活性化を第一に掲げ相応の成果を得た。電子ジャーナルもさらに充実させた。

2. 広報

2. 1 ホームページ

ホームページ・トップページをユーザーを峻別し、ユーザーごとにみやすく有用な情報を発信するよう絶えず更新する。各リンクページについては積極的に改善提案をしてゆく。

昨年度のトップページ一新に続き、今年度は各学科ホームページ改善を重点的に実施した。WGを作り、特に中学生にわかりやすくという観点で、夏季体験学習や1日体験入学に間に合うよう実施した。

2. 2 学校案内およびその他印刷物

学校案内の編集方針を定め発刊する。その他広報関係印刷物について各主管元に改善提案してゆく。

学校案内は、昨年の反省を踏まえ、例年より早めに編集方針を定め、編集し発刊した。また、その他広報関係印刷物について適宜改善提案した。

2. 3 全般的な広報活動

中学校訪問、各中学校における中学3年生とその保護者に対する学校説明会等に対して各主管元に改善提案してゆく
適宜改善提案した。

3. 図書

3. 1 図書の活性化

[1] 学生図書活動の支援

読後感想コンクールの発展企画、ブックハンティング実行、図書館ホームページコンテストの発展企画、図書館便りの発行

[2] 学級単位の図書活動

1年生の学級単位毎に詳細な図書館利用のオリエンテーション実施（1年生の特別活動に組み込むよう依頼）

卒業研究対象に、電子ジャーナル利用オリエンテーション実施（卒業研究指導教官に依頼）

学級毎の利用統計（*monthly* レポート）と優秀学級表彰

〔3〕 図書の充実

各種予算を活用して図書を充実させる

読后感想コンクール、図書館ホームページコンテストに加え、クラス単位の図書貸出冊数コンクールを行い、学生図書活性化を図った。その結果、図書活性化増加傾向を3年連続維持し、貸出冊数でH13年度の倍増に至った。

3. 2 研究成果の発信

年間業務成果報告、新紀要の発刊

年間業務成果報告、新紀要を発刊した。

3. 3 電子ジャーナルの推進

H15年度に整えた電子ジャーナルの利用拡大を図る。

電子ジャーナルに関しては、さらにIBEE等に加え、高専一の利用環境を整備する一方、各教員に活用を促した。

○ 総括的な評価と課題

新委員会2年目にあたり、設定目標はおおむね妥当であり、各項目ともほぼ達成できたと総括する。

特に今年度は、これを効率化した委員構成で達成できたことは評価される。